

# 【COPYコマンドによるデ - タ転送】 (M1930/1931/1893 平行転送の場合)

## 1 . パソコンとM1930/1931/1893の接続

平行ケーブルで接続する。

## 2 . 転送フォーマットの設定

「MODE」キーを2回押し『CONFIG.I/F』を表示させる。「」を1回押しと『CONFIG.FORMAT』と表示されるので「ENT」を押し、「」でフォーマットを選択、「START」キーで設定する。  
『COMPLETE』と表示され、フォーマット設定完了。

## 3 . Pr inputの設定

「MODE」キーを1回押しと『I/O Rs input』と表示されるので「」を1回押し。表示が『I/O Pr input』となるので「ENT」キーを押し。  
『000000 000000』と表示されるので下記【アドレス設定】を参照し、デ - タスタ - ト、バッファスタ - トアドレスの設定を行う。

### 【アドレス設定】

表示の、左側000000はデ - タのスタ - トアドレス、右側000000がプログラムのバッファスタ - トアドレスを示す。

「MODE」、「DEVICE」、「ENT」キー、矢印キーでアドレスの設定をし「START」キーを押し設定完了。

また、デ - タスタ - トアドレス、バッファスタ - トアドレスが共に0番地で良い場合は、『000000 000000』状態で「START」キーを押し設定完了。

### 【アドレス設定完了後】

上記アドレス設定完了後、『PRIN INTEL HEX』（フォーマットがインテルHEXの場合）と画面に表示されればプログラマ側の設定は完了。プログラマからのデ - タ入力待ちとなる。

## 【COPYコマンドによるデ - タ転送】 (M1930/1931/1893 平行転送の場合)

### 4 . パソコン側の設定

パソコンを立ち上げ、WINDOWS95/98のMS-DOSプロンプトを起動する。  
デ - タがインテルHEX「minato.hex」の場合、画面上で、

**COPY C : minato.hex PRN**

(COPY ドライブ : ファイル名 PRN)

リターンを押せば、プログラマへのデ - タ転送が開始される。

また、デ - タがバイナリ - の場合は、2 . 転送フォーマット設定で、  
『NO FORMAT』を選択 (『BINARY』は不可)。  
転送デ - タがバイナリ - 「minato.bin」の場合、

**COPY /B C : minato.bin PRN**

(COPY /B ドライブ : ファイル名 PRN)

終了後は、「EXIT」リターンで画面を抜ける。

以上